

「七宝焼で作る素敵なアクセサリー教室（ネックレス編）」

を開催しました

平成25年10月4日、かがわ七宝クラフト研究会主宰の豊田郁子さんを講師にお迎えし、「七宝焼で作る素敵なアクセサリー教室（ネックレス編）」を開催しました。

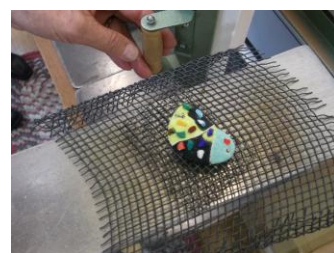
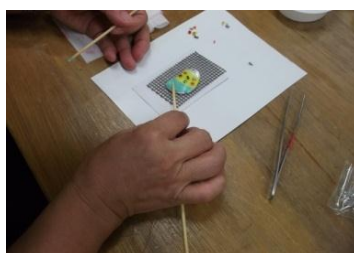


七宝焼とは、金属製の素地にガラス質の釉薬を焼き付ける伝統工芸の焼物です。フランスが発祥の地で、ツタンカーメンの黄金の仮面にも七宝焼の技術が使われているそうです。七宝焼で作られた作品は、時間が経っても色あせずに、いつまでも変わらない美しさを保ちます。



まず、勾玉型の銀板に銀線をのり付けする作業を行いました。銀線の配置を考え、適当な長さに切り、のりを付けて、ピンセットで銀板に貼り付けていきました。5分程度のりを乾かし、800℃の炉で50秒程度焼きました。

次に、釉薬を載せる作業を行いました。ホセという割り箸の先を削ったようなもので釉薬をすくい、銀板の上に載せていきました。色の薄い釉薬から載



せていくときれいにできるそうです。そして、釉薬の上に色とりどりのチップを載せていきました。チップの色や形、配置場所に悩んでいる様子でした。5分程度乾かして、800℃の炉で1分強焼きました。少し冷まして、銀板の裏側をやすりで削って滑らかになれば完成です。



それぞれ個性あふれる勾玉ネックレスに仕上がっていました。